

益田赤十字病院広報誌 2015年 冬号

高津川 だより

the takatsu river letter



新年のあいさつ：病院長 木谷光博

新任医師紹介／地域包括ケア病棟紹介／PSA [仕事の紹介] 薬剤部紹介

活動報告：季節ごとの行事・イベント／外来担当一覧表／市民公開講座案内

敬老の日・ブルーライトアップイベント・クラシックギターコンサート・お餅寄贈・愛のともしび購入物品

高津川だより

益田赤十字病院広報誌 2015年 冬号 2015年1月発行 〒698-8501 島根県益田市乙吉町1-103-1 tel.0856-22-1480 (代表) fax.0856-22-3991 ※病床数 308床

information

地域医療構想策定を
踏まえ、地域包括ケアの
実践をどうすすめるか

入場
無料

益田赤十字病院

市民公開講座

2015.01.31 [土] 14:00→16:00 (受付13:30)
益田赤十字病院講義室 8F

基調講演 | [講師] 杉谷 亮 (島根県 医療政策課 医療専門員)

[座長] 村下 伯 (益田保健所 所長)

[パネリスト] 狩野 卓夫 (益田市医師会 会長)
山田 理絵 (訪問看護ステーションせきせい 訪問看護認定看護師)
齋藤 洋子 (「すてっふ」居宅介護支援事業所 ケアマネージャー)
田中 涼 (益田市地域包括支援センター 社会福祉士)
大塚 哲也 (益田赤十字病院 副院長)

パネル
ディス
カッション

編集後記

あけましておめでとうございます。
元旦は冬らしく雪がちらつき、こたつにみ
かんと、お休みのんびり過ごされたかたも
おられるのではないのでしょうか。
さて、新しい年が明け、当院では新病院竣
工という大きなイベントが待っています。今
回の年末年始はお休みだった職員も、今度は
お休みなく働いているかもしれません。
また、院内のシステムが電子カルテも含
め、全て新しくなることから、「新しいこと
いっぱい」、「覚えることいっぱい」の年にな
りそうです。職員のみなさんと協力して、益
田赤十字病院を盛り上げて行けたらいいな
と思います。
みなさんにとって良い年でありますように!!

企画課
広報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

益田赤十字病院
《基本理念》

人道を尊び
地域の方とともに
良質な医療を
目指します。

<http://www.masuda.jrc.or.jp/>



新任医師紹介

異動にともない、2人の先生が加わりましたので紹介いたします。



平成26年10月16日付

氏名／原 貴彦(はら たかひこ)

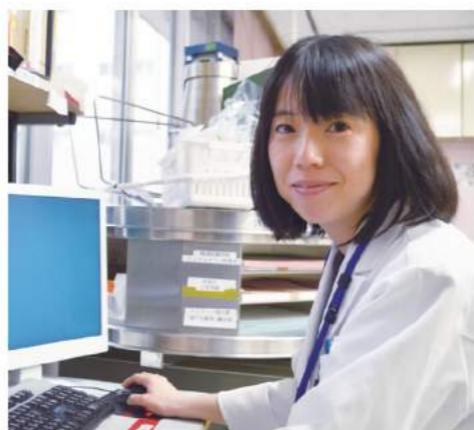
職名／第一泌尿器科部長

趣味／ゴルフ

抱負／地域医療に少しでも貢献できるように、全力を尽くします。宜しく願います。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



平成26年12月1日付

氏名／原 友美(はら ともみ)

職名／産婦人科医師

趣味／ひみつ

抱負／安心して安全にお産ができるよう、諸先輩方のご指導のもと尽力いたします。また、同じ女性として産婦人科を少しでも受診しやすいところにできればと思っています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

あけましておめでとございます。皆様には良い新年をお迎えになられたことと思います。昨年を振り返ってみますと、里帰り分娩の再開と院内助産を開始できたことは、院長として非常にうれしく思っています。里帰り分娩に関しては、今予約を受け付けており、2月から本格的に始まります。市民の皆様にも喜んでいただけたことと思います。

また、当院では高齢化の進展により増大する医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制を構築する地域包括ケアシステムの推進といった国による政策を受けて、2014年10月から亜急性期病棟(30床)を廃止し、地域包括ケア病棟を開設しました。現在順調に運営しています。

一方、2014年診療報酬改定による急性期入院医療の厳格化と2014年4月の消費税増税による支出増は、病院経営を悩ませています。今後、職員が一丸となって頑張っていかなければなりません。

さて、当院の歴史を調べてみると、1933年日原共存病院の益田分院として、創立いたしました。1954年4月1日に日本赤十字社に移管され、昨年でちょうど60周年の節目を迎えました。日原共存病院は非常に歴史がある病院です。わが国における産業組合病院設立の嚆矢となり、県内はもとより、全国に燎原の火の如く波及していったと言われています。

今年には新病院が竣工します。当院にとって、本年



新年のあいさつ

文＝病院長 木谷 光博

の一番大きな出来事となります。61年目に、大きな歴史を引き継ぎつつ新しい歴史の第一歩を踏み出すのだということを、改めて肝に銘じて運営していきたいと思えます。竣工予定は恐らく10月から11月、年末年始をかけて移転ということになります。今、実働308床のベッド数が284床になります。当院は急性期型の病院として、運用していこうと思えます。それを目指すには医療従事者の確保が必要です。どうしたらいろんな職種の方に、勤めてもらえるかということですが、大切なことは、経験が積めること、そして医療職の喜びである自分の技術の向上、すなわち「教育」と「やりがい」だと思います。病院はそのバックアップをしていきます。当院に勤めて良かったと言ってもらえるようにしないとけません。だから、若い方を、後継者を育てるということ、学生も含めて、当院でいろんな実習の機会を作ること、重要なことになろうかと思えます。

最後に当院は赤十字病院ですので、本来の義務、責務を忘れてはなりません。やはり人道、博愛、奉仕、そういうキーワードがありますし、災害時に中核的な働きをするところ、災害時における訓練、シミュレーション、危険予知も含めていろんなシステムを新病院でも作っていきたいと思えます。

皆様にはこの一年、工事等でご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきたく思います。今年もぜひよろしく願います。

当院では主な仕事に調剤室業務、病棟業務があります。調剤室業務には調剤、混注、医薬品情報管理、製剤、薬品管理等があり、病棟業務には服薬指導等があります。それぞれの業務について軽く触れていきます。

のび

[仕事の紹介]

薬剤部 薬剤師とは

病院の薬剤師がどんな仕事をしているか知っていますか？
薬を作っている、みたいな漠然としたイメージはすぐ出てくるかもしれませんが、ここでもう少し詳しく病院薬剤師の仕事を紹介しましょう。



▲注射の無菌調製をしているところ



▲無菌調製した点眼薬



▲調剤業務をしているところ



▲医師看護師等多職種とのカンファレンス

薬品を調合するだけではなく、処方内容が妥当であるかの判断、重複投与や相互作用のチェック等を含めた業務です。混注業務について、当薬剤部では一部の注射薬剤について薬剤部内で無菌調製しています。製剤業務について、市販されていない剤形のものも薬剤部内で作ることがあります。当院では坐薬、軟膏、点眼等を製剤しています。

服薬指導業務について、入院患者にはベッドサイドで、外来患者には薬剤部内の服薬指導室で、薬についての説明、指導を行っています。これらの業務を行うために、医薬品情報管理、薬品管理をしっかり行っています。

また、最近は専門性を持った薬剤師がチーム医療の一員として治療に参加しています。当院ではがん薬物療法認定薬剤師、NST（栄養サポートチーム）専門薬剤師がいます。

その他にも認定、専門薬剤師を目指し業務に励んでいます。病院薬剤師として働きたいと思う方は是非ご一緒しましょう。

地域包括ケア病棟について

(旧 亜急性期病棟 6階東病棟)

国は、団塊の世代が75歳以上になる2025年をめぐり、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けながら住む事ができるように、地域全体で支援サービスを提供する、地域包括ケアシステムの構築を進めています。

当院は、この地域包括ケアシステムを支える役割を持った「地域包括ケア病棟」の運用を、亜急性期病棟に替え平成26年10月1日より開始しました。

地域包括ケア病棟は、急性期の治療が終わり、病状が安定した患者さまに対して、在宅への復帰に向けた医療や支援を行う病棟で、入院費用は雑費を除いて1日あたりの定額制となっています。

対象となる患者さまには、治療経過等を考慮して、地域包括ケア病棟への移動をご案内します。



病気になったら……

《医療》



- 急性期病院
- 亜急性期、回復期リハビリ病院
- 日常の医療
- かかりつけ医
- 地域の連携病院

介護が必要になったら……

《介護》



- 在宅系サービス
- 訪問介護 □訪問看護 □通所介護
- 小規模多機能型居宅介護
- 短期入所生活介護
- 24時間対応の訪問サービス
- 複合型サービス (小規模多機能型居宅介護+訪問看護)等
- 施設・居住系サービス
- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- 認知症共同生活介護
- 特定施設入所者生活介護等

相談業務やサービスのコーディネートを行います。

- 地域包括支援センター
- ケアマネジャー

通院・入院

《住まい》



- 自宅
- サービス付き高齢者向け住宅等

通所・入所

いつまでも元気に暮らすために……

《生活支援・介護予防》



- 老人クラブ □自治会
- ボランティア □NPO 等

図で見る

地域包括ケアシステムの姿

地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定

※裏表紙に、地域包括ケアを取りあげる《市民公開講座》開催のお知らせがあります。ぜひ、ご覧ください。

益田赤十字病院 外来担当一覧

平成27年1月5日現在

科別	診療	月	火	水	木	金	備考	
内科	初診	都野公一	馬庭泰久	都野公一	馬庭泰久	山口祐貴	予約の表示は、予約患者さまのみ	
	4診	岡本栄佑 (消化器)	馬庭泰久 (血液・免疫)	都野公一 (初診・内科一般)	—	岡本栄佑 (消化器)		
	5診	田中賢一郎 (内分泌・代謝)	田中賢一郎 (内分泌・代謝)	田中賢一郎 (内分泌・代謝)	高瀬裕史 (予約 内分泌・代謝)	又賀建太郎 (予約 内分泌・代謝)	「内分泌・代謝」への紹介は、月～水曜日のみ	
	6診	馬庭泰久 (血液・免疫)	天野和寿 (消化器)	馬庭泰久 (血液・免疫)	天野和寿 (消化器)	馬庭泰久 (血液・免疫)		
	7診	山崎整児 (予約 呼吸器)	高橋 勉 (血液・免疫 隔週)	山崎整児 (予約 呼吸器)	馬庭泰久 (血液・免疫)	山崎整児 (予約 呼吸器)	高橋医師(島根大学医学部)の診療は、隔週の火曜日	
	8診	都野公一 (初診・内科一般)	—	—	—	山口祐貴 (初診・内科一般)		
	循環器科	1診	美濃地忠彦	内田利彦	—	美濃地忠彦	—	心カテ日:月～金曜日
	2診	—	川原 洋	手術日のため休診	川原 洋	内田利彦	—	ペースメーカー外来:第1木曜日(予約)
午後	—	—	—	ペースメーカー外来 (予約)	—	—	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ	
神経内科	初診	木谷光博	休診	食見花子	松井龍吉	門田勝彦	もの忘れ外来:水曜日 14時～(予約)	
	木谷光博			—	—	—	—	
	午後	木谷光博 (予約)	—	もの忘れ外来 (予約)	—	—	—	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ
小児科	1診	中島香苗	三浦 勤	中島香苗	三浦 勤	三浦 勤	午後の初診は紹介患者さまのみ	
	2診	門脇朋範	松村美咲	松村美咲	中島香苗	門脇朋範		
	午後	—	—	神経発達外来 (予約)	循環器外来 (予約)	—	神経発達外来:島根大学応援医師 第2水曜日午後(予約)	
	午後	—	—	—	—	—	循環器外来 :第4木曜日午後(予約)	
外科	初診	塩田撰成	塩田撰成	—	三浦義夫	豊田暢彦	手術日:月・水・金曜日	
	再診	三浦義夫	豊田暢彦	手術日のため休診	塩田撰成	—	緩和ケア外来:月曜日午後(予約)	
	緩和ケア外来 (予約)	—	—	—	—	—	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ	
整形外科	初診	大塚哲也	—	米井 徹	—	谷田 敦	初診は紹介患者さまのみ	
	2診	河野龍之助	手術日のため休診	大塚哲也	手術日のため休診	—	手術日:火・木曜日 検査日:月・水・金曜日	
	3診	谷田 敦	—	持田 茂	—	米井 徹	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ	
皮膚科	1診	休診	—	大学医師	—	大学医師	初診は紹介患者さまのみ	
	2診	—	林 忍	—	—	林 忍		
泌尿器科	初診 紹介	青木明彦	原 貴彦	青木明彦	手術日のため休診	伊藤英昭	手術日:火曜日午後・木曜日終日 CAPD外来:月曜日 午後	
	再診	伊藤英昭	青木明彦	原 貴彦	—	青木明彦	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ	
産婦人科 ※完全予約制	1診	森山昌之	原 友美	原 友美	森山昌之	森山昌之	※完全予約制 予約電話受付:平日の14時～16時	
	2診	宮崎康二	宮崎康二	宮崎康二	宮崎康二	応援医師		
	午後	—	—	手術 マタニティクラス (予約)	健診 (予約)	手術	予約午後診療:14時～15時(月・火・木)	
耳鼻いんこう科	1診	卜部晋平	休診	休診	大学医師	休診	紹介患者さまのみ(受付:8時～11時)	
眼科	1診	藤原裕文 (予約患者さまのみ)	藤原裕文	大学医師 (紹介患者さまのみ)	藤原裕文	藤原裕文	月曜日は予約患者さまのみ(紹介不可)	
	午後	手術	—	—	—	—	火・木・金曜日の受付:11時まで 水曜日の受付:10時から、診察は11時から	
放射線科	1診	椋本英光	応援医師	放射線治療外来 (予約)	休診	応援医師	院外検査:月～金曜日(予約) アンギオ日:火・金曜日(午後) 放射線治療外来:島根大学応援医師(専門医) 予約 第1・3週午前	
麻酔科	1診	手術日のため休診	手術日のため休診	手術日のため休診	手術日のため休診	手術日のため休診		
歯科口腔外科	紹介	大熊里依	大熊里依	手術日のため休診	大熊里依	大熊里依	初診は紹介患者さまのみ 手術日:水曜日 休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ	

9月9日(火)院長が75歳以上の入院患者さんを対象に、敬老の日を祝い、記念品を贈りました。
院長は「早く元気になってください。」と声をかけ、記念品のバスタオルをもらった患者さんからは院長へお礼の言葉を伝えられました。



敬老の日

活動報告

季節ごとの行事・イベント

2014年9月～12月

日本糖尿病協会による
ブルーライトアップイベント

11月14日、世界糖尿病デー。当院屋上に、ブルーに光るアドバルーンが上がりました。

国際糖尿病連合(I D F)ならびに世界保健機関(W H O)は、拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、11月14日を「世界糖尿病デー」として指定し、全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。



クラシックギター
コンサート

11月30日(日)、益田赤十字病院ギター同好会と益田ギター愛好会の皆さんによる第13回クラシックギターコンサートが玄関待合ホールで行なわれました。入院患者様のやすらぎと早い回復と退院を願って演奏されました。



今回は、同好会に新メンバーも加わり、いろいろな音色が聴ける演奏でした。

お餅寄贈



12月9日(火)病院近くの雪舟保育所の園児の皆さんから、お餅の寄贈がありました。

お餅は園児さんが午前中に搗かれたものです。ロビーでは、かわいい歌声も披露してくれ和やかな雰囲気に包まれました。当院からは、チューリップの球根をプレゼントし、喜んでいただきました。

愛の
ともしび
購入物品

2014.9.4
バスタオルセット 140枚
☆敬老の日に75歳以上の入院患者さんにプレゼントしました。

皆さまから病院に対する寄付金を基に、その善意を広く還元するため「愛のともしび基金」を設けています。